



2018.10.11

No.72

芦屋「九条の会」ニュース

発行責任者：片岡隆 連絡先 090-7118-2312

<http://ashiya9.web.fc2.com/>

『ストップ！改憲発議』

= 沖縄に続き、アベ政治を終わらせよう =

久々にうれしいニュースが届いた。9月30日投票の沖縄県知事選挙で、翁長前知事の遺志を引き継いだ玉城デニーさんが圧勝した。「辺野古NO！」の沖縄県民の声に押されて。安倍政権は沖縄の民意を真摯に受け止めねばならない。新たな基地を作らず、基地負担の軽減を図っていくことを一日も早く実現することを願う。私たちは可能な限り支援し続けたい。

自民党総裁選は、既定路線通り安倍首相の3選で終わった。首相は選挙後、自民党国会議員に向けて「選挙戦を通じて憲法論争を行い、私の考え方を提示してきた。選挙で結果が出た以上、一致結束して進んでいく。全党の皆さんにご協力いただけると思う」と述べた。石破氏との間で中身のある論争などほとんど行われなかったが、9条に自衛隊を明記するという自身の改憲案が信任を得たとして臨時国会に改憲原案を提出すると明言。数の力を背景に、改憲のキバをむき出しにして発議を狙っている。

反戦・平和の日本を守り抜く正念場

しかし、自衛隊明記は極めて危険であり、重大な問題を含んでいる。安倍政権は3年前、わずか1国会で10本の法改正と1本の新法を一括して強行成立させた安保法制により自衛隊の海外派遣が法律上可能になった（国際協調を名目にアメリカと一緒に海外で戦争をするという任務を自衛隊が背負うことに）。自衛隊が軍隊として機能していく方向に道を開こうとするものだが、9条1項、2項がある限り違憲の疑いは大きい。安倍首相の言うように「単に自衛隊を書き込むだけで現状と何ら変わらない」などということでは決してない。

10月の党役員人事も改憲実現へアクセルを踏んだものだが、安倍首相思惑通りの改憲発議は絶対に阻止しなければならない。いよいよ正念場を迎える。それは改憲を悲願とする安倍首相にとっての正念場であり、あらゆる手段を弄して改憲を実現しようとする。同時に、憲法改悪を阻止して9条を理念とする反戦・平和の日本を守り抜こうとする私たちにとっての正念場である。

沖縄知事選で、「異論を排除し、数の力で強引に押し通す」アベ政治の終わりが始まった。一日も早くアベ政治を終わらせるよう、一層の取り組み強化に努めたい。

(片岡 隆)

